



CPDM

Center for Photodynamic Medicine
Kochi Medical School, Kochi University

NEWS LETTER 光線医療センター

2025年 第6号

先端医療学コース 光線医療班歓迎式

2024/5/29 (金)、先端医療学コース 光線医療班歓迎式を行いました！

新たに3名の学生が、光線医療班としてともに研究活動に参加してくれることになりました。
新2年生の佐藤 崇博さん、田中 陽斗さん、涌井 七菜子さんです。これからよろしくお願いします！光線医療について様々な事にチャレンジして欲しいです。

またその他に3年生の吉井 彩綾さん、大岡 東子さん、5年生の山口 頌太さん、花見 陸さんも歓迎会に参加し、光線医療や高知県の医療について有意義な時間を過ごす事が出来ました。実験の進捗や受賞の報告も行いました。令和6年度先端医療学推進センター学生顕彰制度「相良賞」の金賞を山口 頌太さんが受賞し、記念トロフィーと共に記念撮影しました。この賞は、優秀な学生には同センターの生みの親である相良祐輔名誉センター長の名を冠した「相良賞」を授与して顕彰されます。おめでとうございます。



光線医療 関連論文

筆頭著者; 山本 新九郎先生

Preoperative Pyuria as a Predictor of False-Positive Rates in the Photodynamic Diagnosis of Nonmuscle-Invasive Bladder Cancer Using Oral 5-Aminolevulinic Acid. Int J Urol. 2025 Jun 9.

光線医療 関連発表・講演

筆頭著者; 瀬尾 智先生

肝胆膵手術におけるICG蛍光ナビゲーションの現状から問題点と展望を考える
2025年5月23日第50回日本外科系連合学会学術集会 福井

筆頭著者; 北川 博之先生

絞扼性腸閉塞におけるICG蛍光法による血流評価
2025年5月23日第8回日本蛍光ガイド手術研究会 京都

筆頭著者; 上野 晃子先生

硬性鏡の接触透過光によるAa点への誘導: ロボット仙骨腔固定術(Robot-assisted Sacrocolpopexy: RSC)におけるPharus法
膀胱損傷予防目的でのインドシアニンググリーンを使用した腹腔鏡下子宮全摘術における術中膀胱描出法について～ICG-Washout Methodの有用性について
二波長帯域透過光による腔管切離ライン可視化技術の開発: Dual-Mode PHARUS Pipe
2025年5月23日第8回日本蛍光ガイド手術研究会 京都

筆頭著者; 佐藤 隆幸先生

撃ち込み型近赤外蛍光マーカー(HICARL弾)による消化管患部可視化技術の開発
触型近赤外蛍光探触子iPROBEの開発
2025年5月24日第8回日本蛍光ガイド手術研究会 京都

筆頭著者; 谷岡 信寿先生

ICG蛍光法を用いた精緻な肝切除の取り組み
2025年5月24日第8回日本蛍光ガイド手術研究会 京都

筆頭著者; 藤光 涼太先生

腹腔鏡下肝嚢胞開窓術におけるICG蛍光リアルタイムナビゲーションの有用性
2025年5月24日第8回日本蛍光ガイド手術研究会 京都

筆頭著者; 井上 啓史先生

講演名 「光で診て、光で治す」
2025年6月14日第7回日本泌尿器科学会千葉地方会学術集会特別講演 千葉

筆頭演者; 重久 立先生

「膀胱PDDモデルを活用した上部尿路上皮癌の深層学習による診断支援」
2025年5月24日第8回日本蛍光ガイド手術研究会 京都

光線医療センター ニュースレター

2025年 6月 25日 発行

発行責任者・編集責任者: 井上 啓史

(高知大学医学部 光線医療センター センター長)

文責: 福原 秀雄

<https://www.kochi-u.ac.jp/kms/CPDM/index.html>